

☆次第5 意見交換の進め方

資料4-1

テーマ 「諏訪湖創生ビジョンにおける私の取り組み」

- ①じゃんけんで進行役、まとめの発表役をそれぞれ一人決める
- ②1枚の付箋に自分の名前を記入し、模造紙右上の「グループ構成員」の枠内に貼る。（もう1枚は名札として自身に貼る）
- ③「取り組んでいること」について各自で付箋に記入し、右隣の「ビジョンへの当てはめ」に該当する項目の付近の「取り組んでいること」枠内に付箋を貼る
- ④「取り組んでいること」をもとに自己紹介してもらう（進行役）
- ⑤「課題に感じていること」「取り組む必要があること、取り組みたいこと」について自由に意見交換
- ⑥島で話した内容を発表（発表役）

☆島に書記を1人配置しています。付箋への記入は書記に任せてください

テーマ 「諏訪湖創生ビジョンにおける私の取り組み」

☆グループ構成員（付箋に団体名、名前を記入してこの枠内に貼ってください。）

取り組んでいること

ビジョンへの当てはめ

（取組がもたらす未来を再確認・共有）

- ①水質が改善され、澄んで透明感がある湖水には、魚や水草の姿を見ることができる。
- ②貧酸素が改善され、エゴ（入り江）や砂浜など変化に富んだ環境には多種多様な生き物が育まれている。
- ③豊かな生育環境が再生され、ワカサギなどの有用な水産資源が持続的に利用されている。
- ④水面や湖辺にゴミがなく、美しい景観が保たれている。
- ⑤湖畔が、治水、親水、レクリエーション利用、景観、生態系等湖辺の特性に応じた整備がされ、それぞれの場所が魅力ある場所となっている
- ⑥湖を眺めながらカフェなどでゆったりとした時間を楽しむ人たちが賑わっている。
- ⑦湖上や流入河川では、ヨットやボート、カヌー、カヤックなどを楽しみ、湖畔の砂浜では泳いでいる人々の姿がある。
- ⑧湖畔に整備されたサイクリングロードでは、人々が、健康づくり、又はスポーツとしてサイクリングを楽しんでいる姿がある。
- ⑨観光客が美術館や博物館を周遊するなど、湖畔での散策や温泉などを楽しんでいる。
- ⑩諏訪湖が国際的な湖沼研究の場となり、国内外から多くの研究者や見学者が訪れている。
- ⑪諏訪地域をはじめ長野県内の多くの子どもたちや観光客が諏訪湖を訪れ、水環境保全や歴史・文化について学習している。

課題に感じていること

（取組に対する課題やそれ以外の新たな課題）

取り組んでみたいこと

（構成員と一緒に取組みたいこと、またそれに対し自分ができること）